



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 佐々木直人

# 特集・道本部第57回定期大会

## 『えさき』『徳永』再選!

大出  
新体制

# 組織強化・拡大に全力



定期大会では、大出新委員長が選出され新たな体制が確立された=9月29日、札幌市・ポールスター

道本部は9月28日、29日の両日、ホテルポールスター札幌で「第57回定期大会」を開き、全道から568人(うち女性69人12.1%)が参加した。大会では一年間の運動方針と、秋期闘争をはじめとする当面の闘争方針や、「地方公務員の実質賃上げを確保し、労働法制改善に反対する決議」、「戦争法案強行採決・成立に抗議し、第24回参議院選挙に全力を挙げる決議」と大会宣言案を採択し、大出新委員長をはじめ新執行体制を確立した。



6月の中央委員会で推せん決定したえさき参議院に推薦状が手渡された

2日間の討論で経過4人、方針に27人の発言があり方針が補強された。(2)3面参照  
2015賃金確定闘争では、人事院が24年ぶりとない月例給・一時金とともに2年連続の引き上げ勧告を行ったが、地域手当



執行委員長・山上 潔

## 自治労運動の強化・発展

保護法の強行採決、靖国神社参拝、原発の輸出・再稼働の促進、労働者派遣法の改悪強行、集団的自衛権行使容認の閣議決定と安保2法案の強行採決など、世論の反対があつたにもかかわらず、力づくで問題のある政策や政治を強行した。

『アベノミクス』の幻想にこれ以上振り回されず、奮闘や確定闘争など一層強化していく。

来年7月に行われる参議院選挙では、参議院で過半数割れを勝ち取り、安保法適用阻止の実現をめざすために、全国比例

区組織内候補『えさきたかし』参議院の圧倒的得票による再選と、北海道選挙区候補『徳永エリ』参議院の再選にむけ一大結果しよう。



えさきたかし参議院議員

『安保法の廃止』と『労働者派遣法を改正』し、安心して働き続け、生活していける社会の実現をめざし、たたかいて進める。

## 参院選で「普通の日本」を守る



えさきたかし参議院議員

にして一部に富が集中する社会に私たちは来年の参院選でNOを突き付けなければならない。「普通の社会・日本」を守るため、道本部の皆さんの力を貸してほしい。

### JICHIRO スケジュール

10月	
13日(火)	全道オルグ開始
16日(金)	道本部OBL会秋期学習・交流会(札幌市)
17日(土)	2015現業公企統一闘争全道総決起集会(札幌市)
21日(水)	10.21国際反戦デー『戦争をさせない北海道委員会』街頭行動(札幌市)
23日(金)	『戦争をさせない北海道講演会』(札幌市)
24日(土)	雇用上限突破にむけた全国集会(東京都)
28日(水)	臨時・非常勤等職員の均等待遇と雇用安定を求める決起集会(東京都)
	連合北海道第28回定期大会(～29日、札幌市)

道本部ホームページ  
自治労北海道 ユーザー名: minnade  
組合員専用ページは パスワード: danketsu2013

### 第27回 労文協! 講座

2015年度

- 期間 2015年10月～2016年3月
- 時間 18:00～20:00(講演1時間30分他質疑応答)
- 会場 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目) 東向き6回通し券 2,000円・当日受講 500円
- 主催 労文協または自治労会館事務局

～テーマと講師～

1回目	10月21日(水)	ロシアのガムレット 工藤 正廣(北海道大学名誉教授・ロシア文学)
2回目	11月18日(水)	コルシカの森と文化 森山軍治郎(民衆史家)
3回目	12月16日(水)	日本文学における「アメリカ」 神谷 忠孝(北海道大学名誉教授)
4回目	1月20日(水)	原爆投下の罪を裁く―堀田善衛の『審判』を読む― 水溜真由美(北海道大学大学院文学部准教授)
5回目	2月24日(水)	自然エネルギー利用社会への転換 山形 定(NPO法人北海道新エネルギー普及促進協会理事長)
6回目	3月16日(水)	第二芸術論等と近藤芳美に関する一考察 山本 司(短歌研究家)

### 賃金確定闘争スケジュール

- ◇要求書の一斉提出日 10月26日(月)
- ◇回答指定日 11月4日(水)
- ◇重点交渉期間 11月5日(木)～11月17日(火)
- ◇組合旗掲揚 10月26日(月)～闘争終結まで
- ◇腕章着用 11月13日(金)～闘争終結まで
- ◇超勤拒否 11月17日(火)～11月18日(水)
- ◇出張・諸会議拒否 11月18日(水)
- ◇道本部統一行動日 11月18日(水)1時間ストライキ

安倍政権は、米国に追随し、農業分野で譲歩をかきねた秘密交渉で、12カ国による環太平洋連携協定(TPP)を大筋合意した。国会決議は、重要5農産物(小麦、牛肉・豚肉・乳製品、甘味資源作物)を、段階的な関税撤廃も認

めないと記している。合意は決議に反する。北海道は重要5農産物の主産地だ。酪農は二重の打撃を受ける。国民生活や産業にもたらす影響、国会決議との整合性について、協定批准の是非を判断する国会で議論するよう呼びかけよう。

- ### 第57回定期大会特集号
- 2～3面 大会質疑討論
  - 4～5面 写真、機関紙コンクール、退任役員、来賓あいさつ
  - 6面 事前会議・評議会報告
  - 7面 戦争をさせない総がかり行動、職場だより「網走地本発」、社会保障制度改革の行方(最終回)、ささきさんの国会だより
  - 8面 2016道本部執行体制

# 『えんぎ』再選 組合員一体で取り組む

## 経過に関する質疑

### ■自主福祉活動の推進



長能代議員 (上川地本)

へ届ける。抜本的な解決策を提示させるよう交渉を強化する。

### ■第三者委員会で解決策を



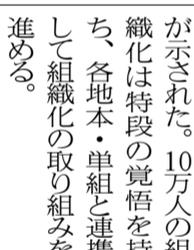
村井代議員 (空知地本・夕張市職労)

39年ぶりとなる全道野球大会を釧路市で開催した。関係者、参加者一丸の協力にあためて感謝。現評議長を退任した浅野への協力に感謝。積み上げてきた運動を次代につなげるため今後も努力する。



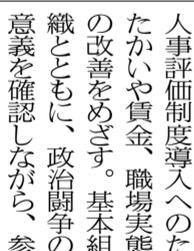
成田代議員 (日高地本・日高町職)

「2015年度一般・特別会計収支報告と監査報告書」について、1ページ目の財政調整基金3億円の記載が、2・3ページ目の2015年度一般会計に反映されていないのはなぜか。また、組合費滞納解消にむけ、口座引き落としは可能か。



成田代議員 (日高地本・日高町職)

「公共民間労協協会」労働法改悪に強い憤り



成田代議員 (日高地本・日高町職)

「衛生医療評議会」社会保障改革の取り組みを



成田代議員 (日高地本・日高町職)

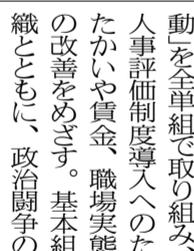
## 各評議会報告

### 「公共民間労協協会」労働法改悪に強い憤り



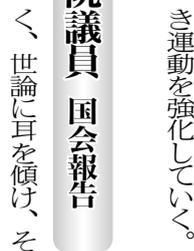
成田代議員 (日高地本・日高町職)

「衛生医療評議会」社会保障改革の取り組みを進める。



成田代議員 (日高地本・日高町職)

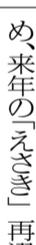
「現業公企都市交評議会」行(二)表撤回の取り組みを進める。



成田代議員 (日高地本・日高町職)

### 「女性部」

「話す場」から要求に



成田代議員 (日高地本・日高町職)

「示谷」



成田代議員 (日高地本・日高町職)

「政治フォーラム報告」

政治フォーラムの組織は、89人で構成している。安保法制について、道議

地本で共済推進委員会を組織し取り組んだ結果、10単組で学習会を実施。一方で人員不足により、労働運動や自主福祉活動の必要性を話す機会がつかれないとの課題も明らかになった。今後も労働運動の両輪である自主福

再生団体となり、266人いた職員が1277人に半減した。賃金が未だ全国最低であり、退職の原因となっている。来年第三者による委員会を発足し、この間の検証を行い、結果を3月に総務省

特別会計収支報告と監査報告書」について、1ページ目の財政調整基金3億円の記載が、2・3ページ目の2015年度一般会計に反映されていないのはなぜか。また、組合費滞納解消にむけ、口座引き落としは可能か。

「2015年度一般・特別会計収支報告と監査報告書」について、1ページ目の財政調整基金3億円の記載が、2・3ページ目の2015年度一般会計に反映されていないのはなぜか。また、組合費滞納解消にむけ、口座引き落としは可能か。

「公共民間労協協会」労働法改悪に強い憤り

「衛生医療評議会」社会保障改革の取り組みを進める。

「現業公企都市交評議会」行(二)表撤回の取り組みを進める。

「女性部」

「話す場」から要求に

「示谷」

「政治フォーラム報告」

## 経過質疑に対する答弁



大出書記長

夕張の問題について当初から本部・道本部・単組がたたかってきたが抜本的な解決には至っていない。引き続き本部とも連携し、総務省対策などを強化する。第三者検証委員会については道本部としても注目している。現地と連携し取り組みを進める。

釧路の全道野球大会のスムーズな大会運営に改めて感謝する。浅野前現業公企評議長の、この間の運動に敬意を表すとともに、引き続き連携を強化し運動を進めていく。上川地本における自主福祉活動の取り組みについて、工夫した取り組みにより組織強化につなげ

てきた報告がされた。全地本・単組で学びあいたい。単に運動の両輪ということだけではなく組織強化、組合員の可処分所得の増加につながるものであり、労働組合への結束力を高める取り組みである。道本部としてもしっかりと進めていく。

臨時非常勤等職員連絡会議

「社会福祉評議会」現場の声を国政に

「青年部」

「示谷」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

## 議長団

スムーズに議事進行をしていた。(写真左から)小野寺和昭さん(平取町職労)、福田亜矢子さん(厚沢部町職)、永田淳さん(伊達市労連)



予算の流れで年度当初については財政不足となる。財政調整基金を繰り出しているが、この部分を一般会計に含めると逆に収支が分かりにくくなるため含めていない。運



蒲池財政局長

用面上の対応ということに理解を頂きたい。口座引き落としは、手数料の課題など克服しなければならぬ課題もあり、従前どおりの取り扱いでお願いしたい。

指定管理・委託料が、そこで働く人たちの労働条件に直結すると認識している。自治体単組と連携がはかれるよう努力していく。

労働法制の改悪反対の取り組みについては、一層強化し取り組みを強化する。非10万人の組織化は、連携をはかりながら組織拡大の取り組みを強めていきたい。

「青年部」

「示谷」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

## 方針質疑に対する答弁



藤盛副委員長

労働法制の改悪反対の取り組みについては、一層強化し取り組みを強化する。非10万人の組織化は、連携をはかりながら組織拡大の取り組みを強めていきたい。

「青年部」

「示谷」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」



目端

「青年部」

「示谷」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

「政治フォーラム報告」

## 政治フォーラム報告



藤川雅司道議会議員

会では2・3定例議会で意見書を提出したが否決となった。今後、決議文を提出する。札幌市議会においても、一票差で否決となっている。引き続き運動を強化していく。

## 逢坂誠二衆議院議員 国会報告



逢坂誠二衆議院議員

今の国会は法治国家の基礎が崩れ、民主主義も崩壊している。真の民主主義とは議席の数ではない。地方の自主性を尊重することが重要だ。

## あいらくみこ参議院議員 国会報告



あいらくみこ参議院議員

働くものや国会の状況は非常に厳しい。今回の強行採決は、選挙の大切さ、国をつくる基盤は地方にある。地方の自主性を尊重することが重要だ。

### 方針への質疑

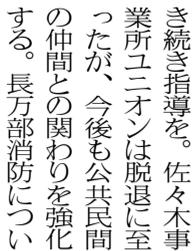
#### ■長万部消防結成めざす



梶山代議員 (渡島地本)

松前病院の独法化検討にあたり、道本部に迅速な対応をいただいた。引き続き指導を。佐々木事業所ユニオンは脱退に至ったが、今後も公共民間の仲間との関わりを強化する。長万部消防について、16年度中の準備会結成めざしオルグを進める。

#### ■国保法改正の執行注視



岡村代議員 (石狩地本・国保連労組)

国保法改正法案が成立し、国保の保険者の枠組

#### ■新たな賃金制度の導入



田中代議員 (十勝地本)

「新たな賃金制度の導入」について、見送りとなった単組が多数ある。引き続き対応を。また、人事評価制度については賃金に反映させないよう取り組む。選挙権年齢の引き下げに伴う地域、学生への対応についてどうしていくべきか。

### 討論のまとめ

山上委員長

本大会では計31人から発言をいただき、議案の補強がされた。私たちは衆・参選挙に敗れ、安保法案および労働者派遣法の強行採決・改悪を押し切られたことを忘れてはならない。

道本部に課せられた責任は、北海道5区選挙区の補選、来年の参院選で勝利することだ。それにむけ、労組が政治闘争をする意味を議論しよう。これから道本部は自治労運動という財産を次代に渡すべく、組織方針・男女がともに担う推進計画の実践が求められている。今後自治労の旗のもとに結集し、たたかいを構築していく。

2014年人事院勧告で寒冷地手当の支給区分を2級へ変更された真狩村・京極町・ニセコ町では単組間の連携で継続協定として、メッシュデータを、豪雪地帯である羊蹄山麓の生活実態に

合っていない。今後も交渉を継続する。ホームページは強い武器。人事評価制度の事務交渉に入っている。組合員と共有することを第一に考え取り組む。賃金闘争は、日常の労使協議と組合員への情報提供が重要で道本部ホームページは単組にとって心強い武器。道本部・地本のさらなる指導とサポートを。嘱託の賃上げ勝ち取った

「小泉三位一体改革以降、採用抑制・独自削減が横行し、熟練スキルは流出、有資格職員の確保も難しく、低年齢化も進んでいる。管理職登用および人員確保を展望した賃金・労働条件、環境改善闘争の強化が望まれる。地域公共サービスを守るため、たたかいを止め、地域を活性化させる。全道で「雇止め年限導入」反対のたたかいの強化を求める。地域交通発展にむけ運動強化



自治労北海道本部第57回定期大会

加藤代議員 (後志地本・真狩村職)

田村代議員 (石狩地本・札交労)

千葉代議員 (全道労連)

小泉代議員 (上川地本・中川町職労)

千野代議員 (上川地本)

松坂代議員 (胆振地本・室蘭市職労)

柿崎代議員 (留萌地本)

森中央委員 (網走地本)

伊藤代議員 (網走地本・津別町職)

難波副委員長

沖田代議員 (留萌地本・留萌市労連)

角田代議員 (渡島地本・函館市交通労組)

政治闘争の再強化を

自治研活動で地域に

自治研活動で地域に

自治研活動で地域に

政治闘争について、この間の取り組みに敬意を表すとともに、お礼を申し上げる。地域段階では候補擁立が厳しくなっているが、一方で地域の課題が多くなっていること

は、制度上の課題と連携闘いにしかりと結果的な取り組みを進める。共済制度に変わる傷病手当金の問題について

は、制度上の課題と連携闘いにしかりと結果的な取り組みを進める。共済制度に変わる傷病手当金の問題について

は、制度上の課題と連携闘いにしかりと結果的な取り組みを進める。共済制度に変わる傷病手当金の問題について

# 2015 機関紙 第48回 写真・まんがコンクール 審査発表



**技術力の高さを感じた**  
9月17日、道本部で「第48回写真コンクール」の審査を行った。今年のテーマは『平和』を感じる瞬間で、25作品の応募があった。審査は、昨年に引き続き以前「北海道炭炭鑑選進写真コンテスト」の審査員だった、写真家のK B N五島さんにお願し、送られてきた作品を審査した上で講評をいただいた。  
五島さんは、「どの写真も平和を感じ、貴重な瞬間をとらえている。被写体、写真の構図など、写真の技術力の高さを感ずる写真が多かった」と講評した。

**優秀賞(1点)**  
「にわたくし」  
全道庁労連十勝総支部

優秀賞(1点)

**佳作(1点)**  
「暁雲」  
全道庁労連札幌医大労組

**一般部 最優秀賞(1点)**  
「夕日の哲学」  
深川市職労 野中 翔太さん

一般部 最優秀賞(1点)



「夕日の哲学」  
深川市職労 野中 翔太さん  
【講評】この場所は有名だが、雲が多いなかで出てきた太陽の瞬間を、タイミング良くとらえた写真。煙のラインの向こう側にある太陽の構図も写真を際立たせている。



「平和と長寿の競演」  
全道庁労連札幌総支部 森崎 勉さん  
【講評】撮影できる時期やタイミング、レンズのセレクト、シャッタースピード、しぼりなどカメラの仕組みを理解していなければ撮れない写真。技術力の高さと平和を象徴する鶴を被写体としたところが良い。最優秀賞並みの作品。

優秀賞(5点)



**「空を見上げて」**  
石狩市職労 吉田 学さん  
【エピソード】子どもの誕生日の一枚。誕生日を笑顔で祝える時間は、平和を感じる瞬間です。  
【講評】子どもの瞳の澄んだ感じと、子どもの表情が平和を感じさせる。写真的に後ろの背景のぼかし方、写真の構図を傾けることで、非常におもしろい状況が、お父さんの表情を生かすように映し出している。被写体の魅力と、構図・技術の高さを感ずる写真。

最優秀賞(1点)

**自主福祉の部 優秀賞(1点)**  
「団結ニュース」  
帯広市労連

自主福祉の部 優秀賞(1点)

**佳作(1点)**  
「暁雲」  
全道庁労連札幌医大労組

**一般部 最優秀賞(1点)**  
「子どもの誕生日」  
標茶町職労 小野寺陽介さん

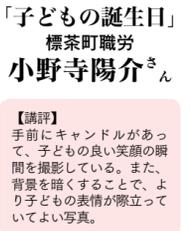
佳作(1点)



「姉妹」  
標茶町職労 高橋 隼人さん  
【講評】子どもの笑顔が国の宝といわれるが、子どもの素晴らしい表情の瞬間をあえて全身を入れて撮影している。写真の構図のおもしろさや、笑顔の瞬間、花の綺麗さにひかれるものを感じる写真。



「子どもの誕生日」  
標茶町職労 小野寺陽介さん  
【講評】手前にキャンドルがあって、子どもの良い笑顔の瞬間を撮影している。また、背景を暗くすることで、より子どもの表情が際立っていてよい写真。



「子どもの記念写真」  
全道庁労連十勝総支部 村上 和彦さん  
【講評】三者三様の表情で、北海道・雪国ならではの「カマクラ」で遊ぶ子どもたち。非常に寒いはずだが、それでも興味津々でカメラを見る子どもと、寄り添っている子どもと平和のひと時を撮影した写真だと感じる。



「未来へのタイムトンネル」  
札幌市職連 峯垣 茂徳さん  
【講評】写真を上下に分割していてカメラの安定感を感じ、良い瞬間をとらえた写真。



「平和な空」  
道本部直属支部 高久保雅子さん  
【講評】見上げた瞬間の雲や太陽を見れることに平和を感じたのだと思う。こういった一期一会の瞬間を感性豊かにとらえている写真。

いやし賞(5点)

**退任役員**  
お疲れさまでした  
本大会で7人が退任しました。これまでの奮闘に感謝申し上げます。お疲れさまでした。なお、大西さんは2016年3月まで道本部臨時執行委員として任務に就きます。

**まんがコンクール 最優秀賞**  
「腹話術？」  
標茶町職労 篠塚 洋之さん

**「夏の昼下がり」**  
釧路市役所ユニオン 越田絵里子さん  
【講評】子どもがスヤスヤ寝ていられるということが、当たり前であり貴重な瞬間。子どもの寝顔に癒される写真。

**「富士山頂からの日の出」**  
標茶町職労 阿部 晋也さん  
【講評】日本では日の出は毎日見られるが、そうではない国もある。今日の日本では貴重な瞬間であり平和を感じた。

**「息子たちの笑顔」**  
標茶町職労 田代 忠司さん  
【講評】一期一会で子供が成長している瞬間をとらえている。このように貴重な写真が撮れることに平和を感じる。

**来賓あいさつ**  
倍政権による数の力に對し中道リベラル政治勢力を推し進めたい必要がある。自治労の力量を内外に示すため「ええき」の再選を勝ち取る。

退任者連合事務局として、社会保障政策制度の充実と、未加入者への働きかけが必要。若い世代に平和運動を引き継ぐため3年前から国連に高校生平和大使を送り出している。引き続き協力を要請する。

50年前の安保闘争は、「日本国憲法は間違いない」と言っていた岸信介が相手だった。安倍首相はそのDNAを受け継ぎ国民の声を無視しつづけている。戦争法廃止にむけて退任者会も奮闘する。

安保法の強行採決に訴え、日本の安全は保障はオキナワ問題が欠かれないが殆ど語られなかった。この法案成立は間違いない。来年の参院選で過半数を取ることが廃案にするしかない。

国民の声を無視し、自覚を持って中央で訴えていく。必要がある。参院選で権力の暴走を止めるために、一人でも多くの国民の声を国会へ届けられるよう力を貸してほしい。

安倍法は成立させてはならない。法案であり、安永の勝利をめざす。課題が山積しているが、ともにがんばろう。

倍政権自体、誕生させてはならない。私たちが事業も平和でなければ存続し得ない。自治労の皆さまも世論をしっかりと見据えた運動を期待する。

9月19日は戦後70年を忘れてはならない日となった。戦前、多くの協同組合が解散させられており、私たちの事業も平和でなければ存続し得ない。自治労の皆さまも世論をしっかりと見据えた運動を期待する。

「総がかり行動」では若者、母親など、これまでない運動の広がりがあつた。今後も「戦争法」の廃止・凍結を追求する。「さようなら戦争・原発集会」を皮切りに、安倍政権の暴走を許さない、運動を強めていく。

生活派遣で低賃金という状況がもたらされる。労働組合として、なぜか政治になったのかを問い、いまの政治に対してNOを突き付けよう。行採決された。生涯派遣で低賃金という状況がもたらされる。労働組合として、なぜか政治になったのかを問い、いまの政治に対してNOを突き付けよう。

その声は「法案の廃案」から「安倍の退陣」に変わっていった。9月19日の強行採決から、安倍政権を打倒するための新たなスタートとして運動を強化しよう。

倍政権による数の力に對し中道リベラル政治勢力を推し進めたい必要がある。自治労の力量を内外に示すため「ええき」の再選を勝ち取る。

# 2016道本部大会 事前会議・各評議会報告

## 現業公企都市交評議会

### 2015現業統一闘争に全力をあげる

道本部現業公企評議会は「道本部現業公企都市交評議会」に名称を変更し、現業、公企、公営・公共交通をはじめとする公共サービスを支える、すべての労働者と連帯した取り

道本部現業公企評議会「道本部現業公企都市交評議会」に名称を変更し、現業、公企、公営・公共交通をはじめとする公共サービスを支える、すべての労働者と連帯した取り



- 〔役員体制〕
- 議長 大西 誠 (苫小牧市職労)
  - 事務局長 中村 秀人 (網走市職連)
  - 公営企業部会長 浜谷 浩一 (札幌市職連)
  - 都市公共交通部会長 田村 雅志 (札幌交通労組)

## 社会福祉評議会

### 現場の声を国政に反映させる

社会保障関係の制度が大きく改革されるなか、介護・保育・福祉職場の現状を評議会として把握し、さまざまな議論ができる体制づくりを行う。社会保障制度に関わる課題につ

社会保障関係の制度が大きく改革されるなか、介護・保育・福祉職場の現状を評議会として把握し、さまざまな議論ができる体制づくりを行う。社会保障制度に関わる課題につ



- 〔役員体制〕
- 議長 種谷 文秀 (函館市職労)
  - 副議長 (福祉事務所対策委員会から選出)
  - 〔保育部会から選出〕
  - 〔介護部会から選出〕
  - 〔障労連から選出〕
  - 事務局長 瀬戸 典仁 (全道庁労連日高総支)
  - 特別幹事 相内 利幸 (札幌市職連)

## 衛生医療評議会

### 地域医療を守る視点で取り組む

医療を含めた社会保障制度改革が進むなか、あらためて地域医療の重要性が求められており看護師などの離職防止や労働条件の改善にむけ、評議会の組織体制と活動強化につ

医療を含めた社会保障制度改革が進むなか、あらためて地域医療の重要性が求められており看護師などの離職防止や労働条件の改善にむけ、評議会の組織体制と活動強化につ



- 〔役員体制〕
- 議長 佐々木 淳 (函館病労)
  - 副議長 居橋 真人 (札幌病職労)
  - 後藤 並子 (中標津町職連)
  - 真壁 英治 (全道庁労連札幌総支)
  - 葛西 希美 (全道庁労連釧路総支)
  - 事務局長 兼村 憲三 (洞爺湖町職連)
  - 事務局長次長 選出中

## 消防職員協議会

### 団結権を見据え組織強化・拡大

消防職員の団結権回復と賃金・労働条件の改善、労働安全衛生の確立などの課題に取り組み、組織強化・拡大に総力をあげて取り組む。

消防職員の団結権回復と賃金・労働条件の改善、労働安全衛生の確立などの課題に取り組み、組織強化・拡大に総力をあげて取り組む。



- 〔役員体制〕
- 会長 菅原 宏仙 (釧路東部消防協)
  - 副会長 中畑 隆寛 (稚内消防協)
  - 高橋 博 (砂川消防協)
  - 事務局長 松井 仁志 (小樽消防行研)
  - 事務局長次長 斎藤 学 (白老消防協)
  - 沼田健太郎 (函館消防協)

## 女性部

### 誰もが安心して働き続けられる職場づくり

女性の団結を強化し、誰もが安心して健康に働き続けられる職場をつくる。基本組織の機関会議などに積極的に参加し、意見を反映する。

女性の団結を強化し、誰もが安心して健康に働き続けられる職場をつくる。基本組織の機関会議などに積極的に参加し、意見を反映する。



- 〔役員体制〕
- 部長 上島 早苗 (上冠村職)
  - 副部長 高野 倫子 (全道庁労連札幌総支)
  - 書記長 吉田 美保 (喜茂別町職)
  - 書記次長 太田 美帆 (中標津町職連)

## 青年部

### 「仲間の声、職場の事実」にこだわる

「学習・交流・実践」を運動の柱に、厳しい情勢でも、仲間とこたわらぬにむき合うことで、要求の前進や組織強化につなげていく。

「学習・交流・実践」を運動の柱に、厳しい情勢でも、仲間とこたわらぬにむき合うことで、要求の前進や組織強化につなげていく。



- 〔役員体制〕
- 部長 斎藤 信 (苫小牧市職労)
  - 副部長 齋藤 満希 (江別市職労)
  - 高橋 弘樹 (名寄市職労)
  - 書記長 佐藤 良太 (全道庁労連胆振総支)

## 公共サービス民間労組協議会

### 要求・交渉・労働協約の締結めざす

委託等関連職場労働者の賃金・労働条件向上にむけ、委託内容、委託費などについてチェックを自治体単組と連携して取り組む。あわせて、指定管理者制度は、雇用不安や、賃金への影響が大きく制度上の問題点を

委託等関連職場労働者の賃金・労働条件向上にむけ、委託内容、委託費などについてチェックを自治体単組と連携して取り組む。あわせて、指定管理者制度は、雇用不安や、賃金への影響が大きく制度上の問題点を



- 〔役員体制〕
- 議長 鷲津 克之 (室蘭福祉事業協会職員労組)
  - 副議長 北貫 泰利 (北海道環境施設ユニオン)
  - 石田トモ子 (北海道福祉ユニオン)
  - 藤谷 俊司 (南部樽山衛生処理労組)
  - 三上たみ子 (松前などん荘職員組合)
  - 川端 政宏 (全北海道指定自動車学校労組協議会)
  - 事務局長 千葉 雄太 (東神楽町社会福祉協議会職員組合)

## 臨時・非常勤等職員連絡会議

### 未組織の仲間の組織化と組織強化

正規職員との均等待遇を基本に、同一価値労働・同一賃金を求め要求を行っているが、賃金は均等待遇にはほど遠い実態がある。職場では、法の縛りにより手当は全く一時金も

正規職員との均等待遇を基本に、同一価値労働・同一賃金を求め要求を行っているが、賃金は均等待遇にはほど遠い実態がある。職場では、法の縛りにより手当は全く一時金も



- 〔役員体制〕
- 議長 増田 光子 (札幌病職労)
  - 副議長 佐藤るみ子 (札幌市職)
  - 伊藤 順子 (札幌市職連)
  - 事務局長 松本 敦子 (札幌市職連)

# 安倍政権退陣「戦争法」廃止

9月25日、札幌市・大通公園で「戦争をさせない北海道委員会総会」が開かれ、市民ら約900人が参加した。



約900人も市民らが「戦争法の廃止」を訴えた=9月25日、札幌市

藤盛・北海道平和運動フォーラム代表は「安倍政権は、多くの国民の反対を押し切って、戦争関連法案を強行採決・成立させた。絶対に許すことができない。これからが正念場だ。『戦争法を廃止させる取り組み』を今日からスタートさせよう」とあいさつした。



「戦争法廃止！安倍政権退陣！国会前集會」今橋弁護士らが、力強く訴えた

藤盛は「これまで取り組んできたことを続けることが必要だ。これから行動、集会、デモ行進をまだまだ続ける。その思いを伝え続けよう」と訴えた。

麻田・北海道生活協同組合連合会会長理事は、「安倍政権が続けば、日本の民主主義は失われ、戦争する国になる。戦争反対の活動を続け、安倍首相の早期退陣にむけて活動しよう」と呼びかけた。



集会には、プラカードを持ち「憲法違反はゆるさない」と訴える参加者

岩本・北星大学教授は「安倍首相に欠けているのはつながりの感覚と想像力だ。人の喜び、悲しみ、苦しみをわかっていない危険な政治家だ。これらが第2ステージだ。安倍首相を退陣に追い込もう」と呼びかけた。

結城・小樽商科大学名誉教授は「憲法を破壊し対米従属の道をひた走る安倍自公政権に、知的レベルはない。これからもあきらめることなく不当な権力に抵抗し続け、戦争を許さないために行動しよう」と訴えた。

道本部長は「安倍政権は、多くの国民の反対を押し切って、戦争関連法案を強行採決・成立させた。絶対に許すことができない。これからが正念場だ。『戦争法を廃止させる取り組み』を今日からスタートさせよう」とあいさつした。



デモ行進では、「安倍政権はいますぐ退陣だ」と市民らに訴えた

## ささきさんの国会だより⑥



9月19日2時18分、ついに自衛隊が海外の戦場に行くことになる安保法案が成立してしまった。この70年、日本は憲法で国家権力を制限し、人々の権利を守る「立憲主義」を守る限りたかおう

「私たちは9・19を忘れない」。戦争法案がある限り、たたかいはやめることはない。新たな運動をスタートさせよう。(10月2日、東京にて)

## 「顔の見える」組合運動



職場だより

【上川地方本部発】上川地方本部公共民間労働組合連絡協議会は9月26日、旭川市・上川教育研修センターで「2015学習交流会・第6回2016定期総会」を開き、4単組15人(うち女性4人)が参加した。学習交流会は「組織強化・拡大にむけて」と題

して、道本部組織強化拡大推進室の吉田雅人事務局次長に講演をしていただいた。吉田さんの講演を通じて直接的なコミュニケーションの希薄化が進むなか、職場の変化に気をつけるためにも、実際に足を運ぶ運動を心掛けることの大切さを学んだ。

定期総会では活動経過報告及び活動方針・役員体制について確認し、参加した各単組の実態を交流した。今後も組織強化・拡大にむけて全力で取り組みを進める。(上川地方本部公共民間労働組合連絡協議会事務局長・千葉雄太)



各単組の職場実態を交流した=9月26日、旭川市

## シリーズ「社会保障制度改革の行方」(最終回)

### 「えさき」勝利で社会保障制度確立



2014年10月から連載してきたコラムも25回目となる今回をもって最終回を迎えることとなりました。社会保障制度は、医療・介護・保育・福祉など地域住民サービスに直結する課題であるとともに、自治体職場で働く医療・福祉職場職員の処遇や自治体財政にも影響がある課題であることから「社会保障制度改革が示す未来と問題点」について解説してきました。これまで述べていたように、今の政権は、経済

界優先の政策ばかりを推進し進め、社会保障費の削減など、様々な形で国民に負担を強いています。この状態が続く限り安心・信頼の社会保障制度の確立は崩れてしまいます。来年夏の参議院選挙において、私たちの制度・政策実現のために、組織内参議院議員「えさきたかし」を圧倒的に勝利させることが必要です。最後に、これまで読んでいただいた組合員の皆さん、本当にありがとうございます。(渡部 裕幸)

## 忙中余話

道本部第57回定期大会で締め切りに追いかけて「機関紙」やホームページの更新に積極的に取り組みました。今年、道本部政治学習会、函館地方協女性セミナーや、道本部活動家育成講座に参加し、機関紙の作り方についての講師なども経験しました。また、機関紙やホームページに掲載するため記として頑張ります。よろしくお願ひします。(渡部 裕幸)

轟ローン金利 年1.80% 拡大版 感謝の 25周年 発売開始

# 組織強化・拡大をはかり「えさきたかし」再選にむけ、頑張ります!



# 2016年度道本部執行体制

### 組織労働局

<b>組織部長</b> (現業公企都市交評担当) 中村 秀人 (網走市労連)	<b>組織部長</b> 佐古岡秀徳 (京極町職労)	<b>組織部長</b> 瀬上 英克 (全道庁労連)	<b>賃金労働部長</b> 三浦 亨 (北見市労連)
<b>組織部次長(書記)</b> (女性部担当) 中村 真友	<b>組織部次長(書記)</b> 河井 勝	<b>賃金労働部次長(書記)</b> 根本 圭	<b>臨時執行委員</b> (自律的労使関係対策) 大西 誠 (苫小牧市職労)

### 4役(企画会議)

<b>執行委員長</b> 大出 彰良 (名寄市職労)	<b>副執行委員長</b> 難波 優 (富良野市労連)	<b>副執行委員長</b> 和田 英浩 (砂川市労連)	<b>総合政策局長</b> 難波 優 (富良野市労連)
<b>書記長</b> 企画総務局長 三浦 和枝 (全道庁労連)	<b>財政局長</b> 山木 紀彦 (遠軽町労連)	<b>特別執行委員(全労済派遣)</b> 全労済自治労共済本部北海道支部事務局長 木村美智留 (全道庁労連)	

### 退職者会

<b>事務局長</b> 今岡 忠男 (全道庁)	<b>次長</b> (組織拡大専門員) 和田 英浩	<b>室長</b> 松岡 敏裕 (石狩市職労)
----------------------------	---------------------------------	----------------------------

### 〈組織強化・拡大推進室〉

<b>事務局長次長</b> (組織拡大オクルグ・本部書記) 吉田 雅人	<b>事務局長</b> 瀬上 英克
---	----------------------

### 企画総務局

<b>企画総務部長</b> 森下 元 (八雲町職労)	<b>青年部長</b> 齊藤 信 (苫小牧市職労)	<b>女性部長</b> 上島 早苗 (占冠村職)	<b>教育情宣部長</b> 佐々木直人 (直屬支部)
-------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-------------------------------

### 総合政策局

<b>政治部長</b> (道民運動担当) 竹中 慶吉 (赤平市職労)	<b>自治体政策部長</b> (社会福祉評担当) 瀬戸 典仁 (全道庁労連)	<b>政治部次長(書記)</b> (道民運動担当) 大島 進	<b>自治体政策部次長(書記)</b> (社会福祉評担当) 渡部 裕幸
<b>公共サービス政策部長</b> (衛生医療評・道民運動担当) 兼村 憲三 (洞爺湖町労連)	<b>公共サービス政策部次長(書記)</b> (衛生医療評・道民運動担当) 岡 かおり		

### 監査委員

<b>企画総務部次長(書記)</b> (教育情宣部担当) 引地 圭太	<b>企画総務部次長(書記)</b> (自主福祉活動担当) 高田 将平	<b>臨時執行委員</b> (自主福祉活動担当) 齊藤 信 (苫小牧市職労)	<b>再雇用書記</b> (連合北海道派遣) 前田 華奈
<b>企画総務・財政担当</b> (臨時書記) 海老名美加	<b>小檜山秀昭</b>	<b>藤田 安弘</b> (全道庁労連)	<b>松本 洋</b> (留萌市労連)

### 〈総合〉研究室

<b>室長</b> 難波 優	<b>事務局長</b> 酒井 康弘 (全道庁労連)	<b>研究員(嘱託職員)</b> 舟橋 圭子
-------------------	------------------------------	---------------------------

### 財政局

<b>会計部長</b> 谷川 広美 (直屬支部)	<b>事務職員</b> 高久保雅子
-----------------------------	----------------------



(写真上段・左から) 鈴木、高瀬、山道、長谷川、高山。(写真下段・左から) 木村、大越、小杉

### 全労済自治労共済本部北海道支部

<b>事務局長</b> 木村美智留	<b>事業推進係</b> 山道摩奈美	<b>高瀬 淳</b>	<b>鈴木 知幸</b>	<b>総務経理係</b> 小杉由美子	<b>高山 智子</b>	<b>長谷川幸子</b> (嘱託職員)	<b>大越 公美</b> (嘱託職員)
----------------------	-----------------------	-------------	--------------	-----------------------	--------------	---------------------	---------------------

### 顧問

林 亮一 (上士幌町職)	元自治労本部書記次長・全労済職域事業本部専務執行役員	大門 正彦 (全道庁労連)	専務理事・事務局長
元自治労本部書記次長・全労済職域事業本部専務執行役員	友利 一男 (網走市労連)	木村美智留 (全道庁労連)	自治労社会保険関係労働組合連合会中央執行委員長
元連合北海道事務局長 佐藤 富夫 (全道庁労連)	元全道労協セブン・エー事務局長	古川 隆之 (深川市職労)	芳賀 直行 (社保労連)
元衆議院議員 中澤 健次 (夕張市職労)	元衆議院議員 金田 誠一 (函館市職労)	元参議院議員 峰崎 直樹 (全道庁労連)	元参議院議員 仲野 博子 (全道庁労連)
元自治労本部執行委員長 後藤 森重 (置戸町職労)	元自治労本部執行委員長 大原 義行 (全道庁労連)	元道本部執行委員長 北村 英人 (全道庁労連)	元道本部執行委員長 森 朗 (全道庁労連)
元道本部執行委員長 三輪 修彰 (旭川市職労)	元道本部執行委員長 富山 隆 (全道庁労連)	元道本部執行委員長 大場 博之 (札幌市職連)	元道本部執行委員長 三浦 正道 (札幌市職連)
元自治労本部書記長 金田 文夫 (函館市職労)	元自治労共済専務理事 田川 靖一 (遠軽町労連)	元自治労共済専務理事 元自治労共済専務理事 元自治労共済専務理事	元自治労共済専務理事 元自治労共済専務理事

### 特別執行委員

自治労本部執行委員長 川本 淳 (中川町職労)	自治労本部執行委員 石上 千博 (富良野市労連)	自治労本部執行委員 岸 真紀子 (室見沢市職)	自治労本部執行委員 駒井 由美 (全道庁労連)
自治労本部執行委員 藤盛 敏弘 (函館市職労)	連合北海道常駐役員 永田 重人 (全道庁労連)	北海道平和運動フォーラム常駐役員 佐藤 環樹 (札幌市職連)	北海道労働金庫理事 高柳 薫 (遠軽町労連)
全労済北海道本部部長 山上 潔 (全道庁労連)	北海道労働委員会委員 馬場 修 (全道庁労連)	公益社団法人北海道地方自治研究所常務理事 杉谷 光一 (留萌市労連)	衆議院議員 逢坂 誠二 (函館市職労)
参議院議員 相原久美子 (札幌市職連)			